

歌壇

大下一真選

特選

竜胆のつぼみ微かに開きそめ吾に渡さるる秋のやさしき

本駒込 岡本千晶

音羽谷小日向山と呼んだらし武士達もののふのかつぽせし江戸

小日向 内野仙也

参道に銀杏の葉つば拾ひたりひとときわれは幼なとなりて

本駒込 唐木よし子

入選

抽選でやっと届いた備蓄米海鮮丼に笑顔のゆうげ

白山 長濱晴子

虫の音に蝉の名残を聴きながら皇居一周秋の気配す

白山 長濱直

唐黍を焼く蒸す茹でるどれもよしあとはがぶりと噛りつくだけ

千石 菊地正矩

新しき命宿るの便りありサンタ来る頃我は曾祖母

千駄木 上杉紀世子

おはようとおきな子蟻にご挨拶ママと一緒に登園の道

白山 鈴木千寿子

団子坂上がればそこに菊人形枯るるを惜しむ芭蕉の影が

大塚 北村敦子

我が娘大口開けて飯を待つ勢いまさに雛鳥のごとし

本駒込 吉田佳泉

令和7年度 第3回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

令和7年度 第3回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

松澤 雅世 選

特選

張り裂けそうな月モンゴルの気配

千石 菊地 正矩

コスモスに溜息の色ありにけり

西片 高橋 千恵子

一すぢの道の果てなる大花野

小石川 内藤 孝子

おおはなの

入選

みどり子の生まれし知らせ夏盛り

白山 荒川 雅子

とことんといかの風味の芋煮の香

小石川 福富 貞子

熱燗で今宵はひとり月見酒

大塚 内田 あきの

葉脈の果てまで紅き紅葉かな

千石 菊地 正矩

蕭々とヒグラシひとり夏閉じる

目白台 鴉田 一夫

江戸っ子は木綿にかぎる冷奴

白山 坂田 敬子

雲晴れて色なき風に触れる午后

本郷 増田 康子